

News Release

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

2026 年7月 22 日

NTT東日本株式会社青森支店

2026 年 NTT グループねぶたのサステナブルな取り組みについて ～ 広域支援・3D デジタルアーカイブ・環境負荷軽減の取り組み ～

NTT 東日本株式会社青森支店(支店長:宮崎 大輔、以下「NTT 東日本」)は、2026 年の青森ねぶた祭において、地域の伝統文化であるねぶた祭の継承と発展、地域活性化ならびに環境負荷軽減を目的としたサステナブルな取り組みを推進いたします。

NTT グループねぶたは昭和 25 年から青森ねぶた祭に参加しており、長年にわたり地域文化の振興に取り組んでまいりました。2026 年は、「人」「文化」「環境」の 3 つの観点から持続可能な地域社会の実現に向けた活動を展開し、地域の皆さまとともに未来へつながる祭りづくりに貢献してまいります。

【サステナブルな取り組み】

1. 広域支援によるねぶた運行体制の構築

NTT 東日本グループでは、地域のかげがえのない自然や文化、コミュニティといった社会的価値を守り、次世代へとつないでいく「ソーシャルグッド」の取り組みを推進しており、地域の伝統文化であるねぶた祭の運行を支えるスタッフの減少という課題に対応するため、NTT 東日本管内のグループ会社へ広く協力を呼びかけ、県外の社員やその家族が参加する広域支援体制を構築しています。

この取り組みにより、祭りの担い手不足の解消を図るとともに、青森県外の社員が青森を訪れ、ねぶた祭だけでなく地域の魅力を体感する機会を創出しています。これにより、交流人口・関係人口の拡大につなげ、地域活性化へ貢献しています。

今後もグループ全体でねぶた運行を支える体制を継続し、青森ねぶた祭の持続的な運営に寄与してまいります。

2. 3D データ活用による文化継承と地域活性化

ねぶたの文化的価値を未来へ継承するため、出陣した NTT グループねぶたの 3D 撮影を継続的に実施しています。

ねぶたは祭り終了後に解体されるため、これまで写真などの 2 次元データで保存されることが一般的でしたが、3D データ化することで、360 度あらゆる角度から鑑賞できるデジタルアーカイブとして保存することが可能となります。

また、3D データはデジタル展示や教育利用に加え、3D プリンターによる立体再現など新たな活用方法が期待されており、ねぶた文化の継承・発展に貢献します。さらに、3D データを活用したコンテンツ創出を通じて、地域の魅力発信や観光振興にもつなげてまいります。

3. カーボン・オフセットによる環境負荷軽減への取り組み

青森市地球温暖化防止活動推進センターなどが推進する青森ねぶた祭のカーボン・オフセット活動へ参加し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。

カーボン・オフセットは、事業活動に伴い排出される温室効果ガスについて、削減努力を行ったうえでなお排出される分を、J-クレジットなどを活用して相殺する取り組みです。青森ねぶた祭では、運行時に使用する発電機燃料に伴うCO₂排出量を対象として実施されています。

また、バイオディーゼル燃料の利活用など、祭りの環境負荷を低減する新たな取り組みも進められており、NTT グループねぶたとしてもこれらの活動に賛同し、地域とともに持続可能な祭りづくりをめざしていきます。

【今後について】

NTT 東日本青森支店は、「人をつなぐ」「文化をつなぐ」「未来をつなぐ」をテーマに、広域支援による運行体制の確保、デジタル技術を活用した文化継承、環境に配慮した脱炭素活動を推進し、青森ねぶた祭の持続可能な発展に貢献してまいります。今後も地域の皆さまとともに、青森の誇る伝統文化を未来へつなぐ取り組みを展開してまいります。